



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド 上場取引所 東・名  
コード番号 3205 URL <https://www.daidoh-limited.com/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員兼COO (氏名) 成瀬 功一郎  
問合せ先責任者(役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 白子田 圭一 (TEL) 03-3257-5022  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,882	△2.8	△201	—	△146	—	△68	—
2024年3月期第1四半期	7,080	16.9	△114	—	15	—	△68	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 505百万円(133.2%) 2024年3月期第1四半期 216百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△2.55	—
2024年3月期第1四半期	△2.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期第1四半期	百万円 41,718	百万円 15,101	% 34.1	円 銭 528.24
2024年3月期	40,882	14,646	33.7	511.82

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 14,224百万円 2024年3月期 13,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 2.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,400	3.0	△450	—	△400	—	△300	—	△11.14
通期	30,300	5.6	100	—	70	—	30	△89.7	1.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	30,696,897株	2024年3月期	30,696,897株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,768,390株	2024年3月期	3,769,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	26,927,573株	2024年3月期1Q	30,945,035株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(会計方針の変更に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより緩やかな回復傾向が見られました。一方で、不安定な国際情勢に伴う世界的な資源価格の高騰や円安方向への為替変動に加えて、中国経済の低迷の影響などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましては、コロナ禍の反動需要は一巡したものの、円安を背景としたインバウンド需要の増加などにより、堅調な推移となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の経営理念を基に、2027年3月期に至る3ヵ年の中期経営計画の初年度である当期の計画達成に向けて、注力事業の効率化と収益力の強化に取り組んでおります。

衣料事業においては、小売部門の主力ブランドのひとつである「ブルックス ブラザーズ」が適切な商品政策やインバウンド需要を追い風に売上高を大きく伸ばした一方、イタリアの製造子会社においては取引先の在庫調整による停滞が長引いていることが影響し、前年同四半期比で減収減益となりました。

不動産賃貸事業においては、前連結会計年度に賃貸用不動産の組み替えが完了したことや、2024年4月に小田原の商業施設「ダイナシティ」の新館がオープンしたことによる来館客数の増加などにより、前年同四半期比で増収増益となりました。

また、各報告セグメントに配分していない全社費用において、定時株主総会の開催に関連する費用が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,882百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業損失は201百万円(前年同四半期は営業損失114百万円)、経常損失は146百万円(前年同四半期は経常利益15百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して836百万円増加し、41,718百万円(前連結会計年度末比2.0%増)となりました。主な変動内容は、投資有価証券の時価上昇による増加などであり、純資産は455百万円増加し15,101百万円となり、自己資本比率は34.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

なお、当社は2024年7月4日に公表いたしました「株主還元に関する方針及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」のとおり、2025年3月期から2027年3月期までの3年間においては、1株当たり年間100円の配当実施を基本方針とすること、株式市場から最大50億円程度の自己株式を取得する方針を決議しております。自己株式の取得については、当社株式の市場価格の推移、財務状況などを勘案した上で、機動的に実施したいと考えており、現時点では具体的な期日は決定しておりません。詳細が決まり次第、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,377	4,825
受取手形及び売掛金	2,670	3,119
棚卸資産	7,258	7,527
その他	2,021	1,998
貸倒引当金	△84	△107
流動資産合計	17,245	17,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,807	9,825
土地	5,436	5,436
その他（純額）	369	416
有形固定資産合計	15,614	15,678
無形固定資産		
その他	1,671	1,700
無形固定資産合計	1,671	1,700
投資その他の資産		
投資有価証券	4,567	5,196
その他	2,062	2,052
貸倒引当金	△278	△274
投資その他の資産合計	6,350	6,975
固定資産合計	23,636	24,354
資産合計	40,882	41,718

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,473	1,462
短期借入金	6,571	6,789
1年内返済予定の長期借入金	771	771
未払法人税等	121	58
賞与引当金	325	375
契約負債	456	661
その他	3,957	3,723
流動負債合計	13,677	13,842
固定負債		
長期借入金	5,802	5,708
長期預り保証金	2,066	2,140
退職給付に係る負債	169	175
その他	4,519	4,751
固定負債合計	12,558	12,774
負債合計	26,235	26,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	4,548	4,548
利益剰余金	1,764	1,639
自己株式	△2,258	△2,257
株主資本合計	10,946	10,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,467	1,898
為替換算調整勘定	1,368	1,503
その他の包括利益累計額合計	2,835	3,402
新株予約権	195	200
非支配株主持分	668	675
純資産合計	14,646	15,101
負債純資産合計	40,882	41,718

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,080	6,882
売上原価	3,372	3,009
売上総利益	3,707	3,872
販売費及び一般管理費	3,822	4,073
営業損失(△)	△114	△201
営業外収益		
受取利息	20	9
受取配当金	65	78
為替差益	36	16
受取手数料	18	18
補助金収入	19	0
その他	51	49
営業外収益合計	211	172
営業外費用		
支払利息	47	67
支払手数料	22	21
その他	12	29
営業外費用合計	81	118
経常利益又は経常損失(△)	15	△146
特別利益		
固定資産売却益	1	72
その他	—	4
特別利益合計	1	77
特別損失		
固定資産除売却損	10	—
特別退職金	15	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△9	△69
法人税、住民税及び事業税	37	30
法人税等調整額	25	△46
法人税等合計	63	△16
四半期純損失(△)	△72	△52
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	15
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68	△68

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△72	△52
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	431
為替換算調整勘定	98	126
その他の包括利益合計	289	558
四半期包括利益	216	505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220	498
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	衣料事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,387	692	7,080	—	7,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	10	△10	—
計	6,387	702	7,090	△10	7,080
セグメント利益又は損失(△)	30	117	147	△261	△114

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△261百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△261百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	衣料事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,069	812	6,882	—	6,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	10	△10	—
計	6,069	823	6,892	△10	6,882
セグメント利益又は損失(△)	△63	244	181	△382	△201

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△382百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△382百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	256百万円	308百万円